

最初は恐そうでムスツとしている方がとても多かったので、とても不安でした。作業も一言も私語をしてはいけないので、利用者とのどのように関わっていけばいいかよく分からないし、作業でとてもつかれるので、休けいは本当に休けいを取りたいし、利用者の気持ちを分かるために作業すると言っても、一日中作業する意味はよく分からないし、とてもつらかったです。しかし、4日目からは生活リズムが出来てきて慣れてきたので、自分に余裕がでてきて、利用者さんともコミュニケーションを多くとれるようになりました。最終日には体験を共におこなった4人で色紙をプレゼントしたら、とても喜んでくれて、とてもうれしかったです。

質問タイムを5日間で3回設けてもらったのですが、担当の施設職員の方がとてもステキな女の人で、本当になんでも丁寧に答えてくれました。特別支援の時には聞きずらかった「あの方はどういう障がいを持っているのか。」とか、今まで行ったどの体験先よりくわしく施設の中のことを知ることができたと思います。そうしているうちに、利用者さんのお給料になるんだから、感謝の意を込めて作業がんばろう、と思うことができるようになりました。初めての利用者さん側の立場、経験できて本当によかったです。人生の大切な5日間になりました。